

2023年11月22日

## アジア開発銀行が発行する「ブルーボンド」への投資について ～アジア・太平洋地域における海洋生態系の保全とブルー経済の発展を支援～

大樹生命保険株式会社(代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」)は、この度、アジア開発銀行(Asian Development Bank、以下「ADB」)が発行する豪ドル建ブルーボンド(以下「本債券」)への投資を実施しました。

1966年に創設されたADBは、極度の貧困の根絶に向けた取組みを続けながら、豊かで多様性を尊重するとともに、気候変動や災害等によるショックに強靱で、持続可能なアジア・太平洋地域を実現することを目指しています。2021年9月には、ブルーファイナンス(※)の必要性への理解が醸成される中、グリーン・ボンド・フレームワークを拡張し、海洋保全への投資を含むグリーン&ブルー・ボンド・フレームワークを策定しました。このグリーン&ブルー・ボンド・フレームワークはICMA(国際資本市場協会)のグリーンボンド原則、および国連環境プログラムの持続可能なブルーエコノミーファイナンス原則に則した内容になっており、以下3つの領域に焦点を当てています。

- ①持続可能な漁業や養殖を含む生態系・天然資源の管理
- ②プラスチック・廃水など海洋に流れ込む汚染物質の削減
- ③海洋再生可能エネルギーや港湾、海運を含む海洋および沿岸の開発促進

(※)海洋環境の保全および持続可能な海洋資源の利用促進を目的とした資金調達およびESG投融資

本債券によって調達された資金は、グリーン&ブルー・ボンド・フレームワークに従って、海洋および沿岸生態系の保全・回復や海洋汚染の防止、ブルーエコノミーの発展を通じて海洋の健全性に貢献するプロジェクトに活用されます。当社は、本債券への投資を通じ、アジア・太平洋地域における海洋および沿岸環境の改善に向けたADBの取組みを資金面からサポートします。

これまでも当社では、環境債(グリーンボンド)や社会貢献債(ソーシャルボンド)、ESG投信などへの投資を行ってきました。今後も引き続き生命保険会社としての社会的責務をふまえ、資産特性に応じて環境・社会・ガバナンスの課題を考慮した資産運用を行い、環境や地域・社会と共生し、経済・企業の安定的な成長と社会的価値の調和的な発展を目指します。

### <本債券の概要>

発行体	アジア開発銀行
格付	AAA(S&P) / AAA(Fitch)
発行総額	40百万豪ドル
償還期間	15年

## 【ADB が取組むプロジェクト事例】

### ■カンボジアにおける持続可能な海洋および沿岸漁業のための融資プロジェクト

<https://www.adb.org/projects/53261-001/main>



このプロジェクトは、カンボジアの海洋および沿岸漁業の気候変動への適応力と持続可能性を高めることを目指しています。カンボジアの沿岸4県（カンポット、ケップ、ココン、プレアシアヌーク）を対象にしており、漁業の衰退を回復させ、持続可能な水産業を促進し、漁港の水揚げ場の改善により海産物の安全性を向上させることで、近海漁業の約40%がより生産的かつ持続可能になることが期待されます。また、沿岸地域社会や中小企業が生計手段を多様化し、持続可能な慣行を採用し、存続可能な企業に成長することにも寄与します。さらに、中小企業における女性の関与を増やすことにより、女性の経済的自立支援も行います。同プロジェクトにより、約2万世帯を構成する25の地域漁業と15の集落保護地域、そして約20万人の広範な沿岸コミュニティに利益をもたらすことが見込まれています。

\* 上記プロジェクトは、事例のご紹介のみを目的としており、ブルーボンドの資金の活用を上記プロジェクト又はその分野に限定するものではありません。

## 【本件と関連性の深い SDGs テーマ】



以上